

医療英語

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・友松郁子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：5

■ 授業概要

グローバル化の進展により、医療現場では英語でのコミュニケーションが必要となる場面が増えている。また医療や看護について多くの情報が世界中で英語を介して発信されている。こうした状況にも対応していくために、授業を通じて臨床や研究で実践的に活かせる英語力の修得を目指す。そのために、病院等の看護提供場面で遭遇する会話コミュニケーションの演習や、英語で記述された短い学術論文を読解するなど医療英語に触れる機会を増やし、その習得方法を教授する。また、AI を活用したコミュニケーション方法についても練習しながら、より実践に活かせる英語力の習得を目指す。

■ 到達目標

英語 I、II で習得した看護英語の基礎をもとに、医療現場で使える実践力を強化する。

■ キーワード

外国人患者とのコミュニケーション

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	イントロダクション 会話・リーディング 1	・授業の進め方、テキスト、評価方法についての説明 Unit 1 空飛ぶ眼科：ボランティア医療職員の活躍	友松
2	会話・リーディング 2	Unit 2 ナノテクでお手軽に浄水	友松
3	会話・リーディング 3	Unit 3 瞑想やヨガで慢性的な腰痛を治そう	友松
4	会話・リーディング 4	Unit 4 歯医者に何回も行く必要がなくなる新技術とは	友松
5	会話・リーディング 5	Unit 5 インフルエンザの脅威とワクチン接種の重要性	友松
6	会話・リーディング 6	Unit 6 糖尿病の診断は血液ではなく息で検査	友松
7	会話・リーディング 7	Unit 7 虫歯はもう削らないで治療	友松
8	会話・リーディング 8	Unit 8 心臓にはパッチを貼って治療	友松
9	会話・リーディング 9	Unit 9 100 万人を救える最新技術：敗血症治療の最前線	友松
10	会話・リーディング 10	Unit 10 50 以上の乳がん治療薬からどれを選ぶべき？	友松
11	会話・リーディング 11	Unit 11 脳がんを治療する新技術	友松
12	会話・リーディング 12	Unit 12 抗生物質を多用した弊害 1	友松
13	会話・リーディング 13	Unit 13 抗生物質を多用した弊害 2	友松
14	会話・リーディング 14	Unit 14 人は死ぬ時を自分の意思で選べるか 1	友松
15	会話・リーディング 15	Unit 15 人は死ぬ時を自分の意思で選べるか 2	友松

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

期末試験 50%、課題レポート及びミニテスト 50%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

必要に応じて学務課を通して行う。

■ 教科書

- ・ 眞砂薫、田中博晃、Bill Benfield 著 (2019) 『Medical Front Line : VOA で深める医療の世界』
成美堂

■ 参考書・参考資料等

授業時に適宜指示する。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業前後の学習は授業にて指示する。

■ 担当教員からのメッセージ

様々な角度から医療英語を学んでいきます。どんなテーマに関心がありますか？まずは、テーマを一つ選んでください。選んだテーマに関連する表現を身に付けていきましょう。また、そのテーマについて説明し、意見を伝えるための表現を強化しましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

問い合わせの際は学務課を通してください。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

英国での医療通訳

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

海外の病院等における医療通訳としての経験を活かした授業・演習内容を設定しています。